

2018年11月13日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
(コード番号 8306)

2019年3月期中間配当ならびに2019年3月期期末および年間配当予想の修正について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{ひらの のぶゆき}平野 信行）は、本日開催の取締役会において、2018年9月30日を基準日とする中間配当を行うこと、ならびに2019年3月期の1株当たり期末および年間配当予想を修正することにつきまして、下記のとおり決議いたしました。

記

1. 2019年3月期中間配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2018年5月15日公表)	前期実績 (2018年3月期)
基準日	2018年9月30日	同左	2017年9月30日
1株当たり 配当金	11円	10円	9円
配当金の総額	144,314百万円	—	119,890百万円
効力発生日	2018年12月5日	—	2017年12月5日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 2019年3月期配当予想の修正内容

	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
前回予想 (A)	10円	10円	20円
今回修正予想 (B)		11円	22円
当期実績 (B)	11円		
増減額 (B-A)	+1円	+1円	+2円
前期実績 (2018年3月期)	9円	10円	19円

3. 理由

当社は、資本の健全性や成長のための投資との最適バランスを検討した上で、配当を基本として株主還元の充実に努める方針としております。

配当につきましては、利益成長を通じた1株当たり配当金の安定的・持続的な増加を基本方針とし、配当性向は40%をめざしてまいります。

本方針にのっとり、2019年3月期の中間配当を従来予想の1株当たり10円から1円増額して11円に決定いたしました。また、期末配当予想を前回予想の1株当たり10円から1円増額して11円に修正いたしました。これにより、年間配当予想は1株当たり22円となり、前回予想から2円、前期実績から3円の増配を予想しております。

以 上

本資料には、当社または当社グループの業績、財政状態に関する予想、見通し等の将来に関する記述が含まれています。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記述されています。また、将来の予想、見通し等を作成するためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし前提（仮定）は、その性質上、将来そのとおりに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離したりする可能性があります。そのような事態の原因となりうる不確実性やリスク要因は多数あります。その内、現時点において想定し得る主な事項については、最新の決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Report をはじめとした当社の公表済の各種資料をご参照下さい。